

クラブ活動報告

創立60周年記念イベントを実施

和歌山南ロータリークラブ

和歌山南ロータリークラブ(会長 檉畑 国俊)は、4月25日、和歌山県民文化会館シューホールで、創立60周年記念イベントのプログラムを実施しました。

イベントでは、「子供たちの夢と未来のために」をテーマに国際社会に目を向けた講演や、未来に羽ばたく若者の演奏を届けました。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、参加は会員と関係者のみに制限し、YouTubeで動画配信(同クラブホームページからリンク)しています。

開催に当っては、多くの議論を重ね、迷いがあったものの、講演者らの熱い思いに背中を押され、感染防止対策を施し、最小人数で実施することとなりました。

第一部の記念講演では、難民の支援などに取り組む国連UNHCR協会の中村恵さんが、リモートで活動内容を紹介。難民の子どもたちの半数は学校に通えていない現状や、コロナ禍で教育支援を縮小・中断せざるを得ない状況があり、多くの人道支援が必要とされていることを伝えました。



さらに、中学校まで盲学校で学び、星林高校から東京大学教育学部に進学した同市出身の菅田(すがた)利佳さんが近況を報告しました。学業の傍ら、ピアノの演奏活動を続けており、憧れで大好きな曲だというショパンのノクターン第8番を奏でました。

また、第二部では、きのくに音楽祭支援イベントとして、きのくに音楽祭プレミアムコンサートを開き、同市出身のバイオリニストで東京藝術大学学長の澤和樹さん、同市のピアニスト宮下直子さん、ホルン奏者の日高剛さんを迎えた「きのくに音楽祭プレミアムコンサート」も開催。音楽の道を志す二宮煌太さん(ピアノ)、中村心春さん(フルー



ト)、柴田陽(ひかる)さん(ピアノ)、有馬陽子さん(チェロ)ら県内の中高生との共演もあり、美しい音色を響かせました。

会場では、関係者のみの制限となりましたが、ネットを通じ、多くの視聴者に楽しんでもらうことができました。

